

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	29年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 誘致推進課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	クルーズ船誘致の推進	継続	拡大	拡大	連絡先	052-654-7835
目的	対象(誰・何を)	クルーズ船			連携課	企画担当、海務課、港湾管理事務所
目的	意図(どうい う状態にしたいか)	名古屋港への寄港増加に向けた取組を進め、交流空間としての魅力向上を図ります。			事業 期間	平成6年度～継続
概要		クルーズ船の誘致を進めるとともに、乗船客の印象に残る歓送迎行事や観光案内等によるおもてなしのほか、船内見学会の実施によりクルーズ船への関心拡大を図ります。			根拠 法令等	
30年度の実施予定		関係行政機関、団体、企業で構成する「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じてクルーズ船誘致に向けた取組を進めます。また、クルーズ船が入港する際には、歓送迎行事、観光案内等を実施するとともに、船内見学会の実施について運航会社に協力を要請していきます。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

30年度に実施した 内容・結果	関係行政機関、団体、企業で構成する「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」での活動を中心に、国内外クルーズ船会社等への誘致活動を実施しました。また、クルーズ船寄港時には、歓送迎行事、観光案内等を実施するとともに、クルーズへの関心を高めるため、運航会社協力のもと船内見学会を実施しました。また、同会議においてクルーズ産業の動向や名古屋港の置かれている状況等を確認して課題を整理し、今後の対応について名古屋港クルーズ船誘致に向けた行動計画として策定しました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	51,272	28,347	79,518	53,046	本事業費は、一般会計及び名古屋港利用促進協議会から支出されるため、以下の計算式により算出しています。 事業費総計額＝一般会計の支出分＋(同協議会における支出×本組合の負担割合)
人件費	千円	16,126	17,921	17,977	17,341	
合計	千円	67,398	46,268	97,495	70,387	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
クルーズ船入港隻数 (隻)	目標	40	40	40		40	過去5年間(平成21～25年)のクルーズ船入港隻数の最高値を目標値としました。	
	実績	39	35	44				
	(単年度管理型)		事業進捗状況(30年度)		<input checked="" type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る	<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る		
クルーズ船見学会の 開催数(件)	目標	3	3	3		3	見学会の実績が多い日本船籍のクルーズ船数を目標値として設定しました。	クルーズ船運航会社の協力
	実績	4	5	1				
	(単年度管理型)		事業進捗状況(30年度)		<input checked="" type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る	<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	クルーズ船の入港隻数については、外国籍クルーズ船が前年度と比べ4隻増加したこともあり、目標値を達成することができました。見学会の開催数については、船側の運航上の理由により実施が取りやめになるなど目標値に届きませんでした。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/> 見学会の実施にはクルーズ船運航会社の協力が不可欠ですが、本組合が関与することで事業の公平性が担保されると考えます。見学会の定員に対しほぼ応募者数が上回っており、一般県市民の関心に応える事業となっています。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/> クルーズ船入港時の見学者や見学会の応募状況から、華やかなクルーズ船の寄港は上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に寄与していると考えます。						
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/> クルーズ船見学会の開催数は目標値を下回ったものの、外国籍のクルーズ船の寄港隻数が増え、目標数を達成し、交流空間としての魅力向上を図ることができました。						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/> 実施に当たっては直接的な支出を抑え、クルーズ船運航会社の協力を得ながら行っています。						

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	継続
目標値をやや下回る	クルーズ船誘致に向けた取組は、港湾管理者のみならず関係機関との協力、連携が必要です。また、インターポーティング※による寄港が金城ふ頭においても始まり、多数の乗船者及び下船者があることから、関係機関等と連携したスムーズな対応が求められています。 ※インターポーティング:起点となる発着港だけでなく、周遊する複数の寄港地での乗下船を可能としているクルーズ。	「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じて関係機関との連携を強化し、引き続き、県民市民のクルーズ船への関心を高めるとともに、行動計画に基づきクルーズ船の誘致に取り組みます。	